

株式会社サードウェーブ 1,200 万円の企業版ふるさと納税

7月30日、株式会社サードウェーブ様（東京都）から、1,200万円の企業版ふるさと納税をしていただきました。

株式会社サードウェーブ様は、パソコンショッパチェーン「ドスパラ」を全国に展開し、コンピューター機器などの企画・製造・販売など最先端の技術を扱う企業で、「高校eスポーツ部支援プログラム」など「eスポーツ」の振興にも取り組まれています。

町では、今月まで同社と共催した「#たかなべスマホ動画コンテスト」に先駆け、同じく共催で8月に「たかなべ映像講座」を開催しました。

この度のご寄付は、本町の地方創生事業「高鍋町まち・ひと・しごと創生推進事業」のうち、高度な情報通信技術について学ぶ環境の整備などに大切に活用させていただきます。



「たかなべ映像講座」の様子。
株式会社サードウェーブ様からご提供いただいたパソコンを使用しました。

新春恒例 消防団による市中パレード

今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため高鍋町消防始式の式典や訓練は行われませんでしたが、火災予防の啓発を目的として、1月9日に市中パレードのみ行われました。

市中パレードでは、児湯農業協同組合、ディスカウントドラッグコスモス高鍋平原店、ひまわり薬局高鍋上江店、高鍋町体育館のコースを巡り、消防団員は規律ある行進を見せ、元気に火災予防を呼びかけました。



高鍋町消防団では、消防団員を募集しています。消防団活動や地域防災に興味のある方は、下記までご連絡ください。女性消防団員も募集中！

高鍋町 総務課 生活安全係 ☎26-2022

たかなべ防災コラム

「避難所の常識」

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために屋内外を問わず「密を避ける」ことが言われはじめてから約2年が経過しようとしています。その間、ちまたでは密を避けることと野外のアクティビティが合体した「キャンプ」が過去何回かのキャンプブームを遥かにしのぎ、大流行しています。一方で、その大流行に乗った一部のキャンパーのマナーの悪さも、各種報道やSNSで報じられており、大きな社会問題となっています。

では、避難所における「マナー」＝「常識」とは一体何でしょうか？一般的に言われていることは、「譲り合い・支え合いの心で生活する」「生活の和を乱さないように避難所のルールを守る」「プライバシーを尊重する」などがありますが、これらは避難所でなくても当たり前の社会一般の常識です。「マナー」＝「常識」は守らなければお互いに不快な思いをする（させる）だけでなく、避難所（社会）の秩序も乱れてきます。

その他の避難する際の心構え的な常識として、3日分の食料・飲料水、常備薬などの必要最低限の生活必需品は自分で準備することが必要です。生活必需品を入れた「防災リュック」をいざという時に持ち出せる準備も、忘れてはならない重要な「避難（所）」の常識です。